

# みなみたね 第1回定例会 議会だより

第177号 発行 令和4年6月1日

■発行責任者：南種子町議会議長 広浜 喜一郎  
■編集：議会広報編集委員会  
■住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111  
撮影 小脇 美智代 (町広報担当)



～子どもたちの夢をのせたこいのぼり～

令和4年第1回定例会が3月2日～18日まで開催されました。

主な内容

一般質問(4名).....	2P～5P	総務文教委員長報告(所管事務調査・陳情審査)...	9P
論点(主な条例・補正予算審議から).....	6P	産業厚生委員長報告(陳情審査・意見書提出).....	10P
予算委員会報告(総務文教委員会).....	7P	議員発議等について.....	11P
予算委員会報告(産業厚生委員会).....	8P	人事・ホームページ閲覧・編集後記.....	12P

一  
般  
質  
問



濱田 一徳 議員

## 旧南種子高校校舎等の 今後について

**濱田** 旧校舎は築50年以上が経過し劣化が激しい。将来的な構想を示す時期ではないか。

**町長** 現在、中央公民館、埋蔵文化財センター、郷土館、図書館及び各種団体の会議室として利用しているが老朽化も進んでいる。施設の利活用を含め、今後の計画について、解体や改築、部分補修、財源等総合的に調査を指示している。屋内運動場についても雨漏りや床対策、利用用途など

改修変更についても考えていく必要があると感じている。外壁部分の景観面の補修や福祉センター等についても、個人的にはすぐに実施したいと思っているが、財源の確保、見通しの状況を踏まえ、計画を立てなければならぬと感じている。ちなみに外壁塗装や庁舎の塗装に7千万円ほどかかる。外壁等のみの場合は国の交付金等の補助金もなく、地方債の対象外でもある。現状で一般財源、基金の利用と

いうのも非常に難しい。財源の問題等から施設の整備等行き届かない点もあるが、現在新たなチャレンジや積極的な国庫補助事業の導入等色々事業組み立てをしている。今後旧南種子高校周辺、福祉センター等十分に整備をしていくべき所だと認識しており、財源を含めしっかりと計画を立ててまいりたい。

**濱田** 郷土資料の展示、保存についての今度の計画は、

**教育長** 郷土館管理委員会で外部委員の意見をいただきながら、新たな企画展示や体験学習等を行っている。新たに収蔵した資料についても毎年新収蔵資料展と題して町広報誌や防災無線、ポスターによる広報を行い、また、常設展示だけでなくミニ企画展としてパネル展示等も行うと共に、今年度は長谷開拓75周年を記念した長谷の歴史展も開催している。今ある施設を最大限活用し新たなアイデ

アを工夫して、積極的に南種子町の貴重な宝物を町民や観光客へ今後広くPRできるように努力する。

将来的な展示施設の計画については、収蔵室、展示室の手狭さ、湿気の問題等もあり、個別的に部分改修できるもの、根本的な補修、改修など総合的に財源等を勘案していく必要があると考えています。

### 危機管理について

**濱田** トンガ海底火山の噴火に伴う津波注意報に接して、今後の防災計画について検討されたか。

**町長** 防災無線の不具合については、今回集落行政連絡員に依頼して全世帯の状況を確認調査している。その結果を基に計画的に整備に努めたい。

次に防災計画については、国の防災基本計画及び県の地域防災計画に倣って策定し、国や県の修正点を踏まえ町の

防災会議を開催して修正している。

今年度は2月に県の防災計画の修正が示され、現在町の防災会議に向け準備している。

今回公民館連絡協議会とも協議し、情報共有と避難場所の運営等、公民館組織との連携強化を図って行かなければならないと考えている。

**濱田** 野外拡声器の設置に関する今後の見直しは、

**町長** 町内23か所設置しており、現在設置要望が1カ所ある。今の整備では町内全域をカバーしきれないのが現状である。増設に伴う経費は1カ所あたり500万円程度である。主に津波の恐れのある沿岸地域に設置してきたところであり、今後の拡充については安心、安全なまちつきりを基本に災害への備えとして検討してまいりたい。



福島 照男 議員

## 新たな起業や事業拡大による 雇用促進について

**福島** 現在取り組んでいる第2期トライタウン南種子町宇宙・歴史・文化の町・総合戦略の中で、創業支援対策事業に対する取り組み状況及び相談件数について示してください。

**企画課長** 平成29年度から特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用して、事業者の起業や創業及び事業拡大の支援を行ってきたところです。

29年度事業については、6件の申請があり2件採択、30年度は5件の申請に対し1件採択、令和元年度は2件の申請に対し1件、2年度は4件の申請に対し2件採択、3年度は2件の申請に対し1件採択しましたが、事業者側から辞退の申し出がありゼロになりました。4年度は4件の申請があり1件採択しています。これらについては予算の範囲内と審査委員の審査結果に基づき採択しています。

**福島** 今後この事業を伸ばして行くための課題を示し

てください。

**企画課長** 事業者の申請内容が今の補助事業に合致していない部分もあったりしますので、事前に指導や相談を進めていく必要があると思っています。

### 介護・福祉の充実について

**福島** 高齢者人口が増々増えていく中に於いて、高まる介護ニーズに対する課題と対策について示してください。

**保健福祉課長** 大きな課題として、介護従事者確保の問題があります。これから団塊の世代が75歳を迎え、介護を必要とされる方も年々増加することが予想されます。介護を担う方の現状を見ると、従事者の高齢化傾向も見られるところです。従事する方の処遇の改善も必要ですが、まずは介護人材のすそ野を広げることで、介護サービス事業者の人材確保に資する観点から、介護職員初任者研修を受

講して頂くことが大事だと考えています。受講に対する助成制度の創設に向けて鋭意検討を前向きに進めていきたいと考えています。

**福島** 国や県からの支援だけで足りない部分については、本町独自の対応策も検討する必要がありますと考えますが、町長の捉え方を示してください。

**町長** 受講に対する助成制度の創設については、介護に従事して頂く方をしっかり確保するために、本町独自の制度を今年度中に検討したいと考えています。

### 町民アンケート調査実施の提案について

**福島** 今年は各地区に於いて町政座談会が行われましたが、コロナの関係もあつてか参加者が限定され、多くの町民の声を聞く機会がありません。かき消されそうな小さい声や意見が現実に見えてきま

す。1年間の行政を総括すると言う意味でも、町民がどう捉えているのか、満足しているのか、どんな要望や意見があるのか、町民の意向を掴むためにも、年に1回の機会を作ってはどうかと思いますが、町長の考え方を示してください。

**町長** 未来会議であったり公民館長や各種団体を通じての要望であったり、また直接要望に来られたりします。そんな中で要望内容を精査しながら実施可能なものについてはしっかりと対応していきたいと思っています。

これまでに長期振興計画や子育て支援対策等を策定する折にアンケートのお願いをしています。アンケートが多すぎるといふ意見も届いてきます。現時点で毎年アンケートを実施するのはどうかかなど思っています。全世帯にそういう御意見を賜るのであれば適正な時に実施できるように十分検討したいと思っています。



名越 多喜子 議員

# 観光物産館トンミー市場「道の駅指定」への進捗状況について

名越 進捗状況はどのようになっているか。

町長 5千万円の整備費用が必要という試算になっており、長期振興計画と合せて引き続き活用可能な補助事業など財源確保を検討していきたい。スケジュール的には基本構想、基本計画、そして設計、工事、登録となり、数年かかる。

## 観光物産館職員の休憩所設置について

名越 応急的に従業員駐車場の奥に、プレハブ的な物でも設置出来ないか。

町長 職員の働く環境の整備は大変重要であり、現在検討中である。

## トンミー市場内の観光案内所設置について

名越 トンミー市場内の観光案内所設置についてですが、見学者に対して、トンミー市場に案内所を設置し、対応が出来るよう検討し進める考えはないか。

町長 種子島観光協会とは合併して、西之表に移転し、事務局と案内所が西之表港の中にありますが、観光協会として、観光振興について、機能していないように私は感じている。南種子町単独で観光振興をはかっている。種子島観光協会南種子支部と協議をしながら、調査研究をしなければならぬと思う。

一つの案として、令和4年度から、本町単独で種子島宇宙芸術祭を立て直し、事業を開始する計画であり、旧地場野菜販売所のインフォメーションセンター内に案内等の業務や英会話のできる地域おこし協力隊の採用とか、又はトンミー市場内に設置するのがいい

## トンミー市場職員に対して観光案内を仕事としての位置づけと教育について

いいのか、十分検討したい。

名越 位置づけと教育についてどのように考えるか。

町長 個人の観光客に対しては、問い合わせには対応している。又、観光ツアーにはガイドもついているので、これまで同様に対応していきたい。又、広田ミュージアムのように語り部のような方がいて観光案内をしていただくのも良い方法だと思えますが、最もよい形を研究していきたい。

副町長(まちづくり公社理事長) 職員は笑顔で対応することが基本ですので、積極的に声をかけ対応していくことが非常に大切なことだと思います。従業員同士の雰囲気も良く、住民の皆様からお褒

めの言葉を頂いております。

名越 従業員の研修ということですが、野菜や花卉類その他色々な品物に対して、質問に対して食品であれば、食べ方、花卉類であれば育て方等説明ができることが大変大事ではないかと思えます。これらを踏まえて、研修というのは必要だと思いますがどのように考えるか。

副町長 色々な品物がありますので、勉強して、特産品等もありますので、観光客の方たちにも十分説明できるような研修は非常に重要だと思いますので、今後そのようなように努めていきたい。





塩釜 俊朗 議員

## 公共スポーツ施設等の充実について

**塩釜** コロナ禍によりスポーツ交流、合宿があまりできない中、昨年度は本町でも

幾つかの高校が合宿に来ていただいたとお聞きする。特に中種子町においては、県下でも有数の施設を持ち、高校生、大学生等が合宿に来ており受け皿体制も整っております。担当職員の配置、合宿への誘致活動、補助金の確保などです。本町でもスポーツ施設としてある程度充実しているが、何か足りないように感じます。先進地の視察も含め、少しでも交流人口を増やし、補助金の創設も必要ではないでしょうか。スポーツ合宿の受け皿体制の充実についてどのような考えか。

**町長** 中種子町のような活動を実施するという点については、条件整備が必要であると考えている。そのためには、施設の整備やメンテナンスをこれまで以上に充実させていくという事は重要である。受け皿となる関係団体の意見も伺いながら協議の上検討していく。

**塩釜** 合宿によって、小学

校・中学校との交流も出来ると思うが。

**教育長** スポーツを愛好する視野が広がり、選択肢も広がることによって、体力・技術向上・夢といったような観点から意義のあることだと考えます。

**塩釜** 以前にも質問しておりましたが、スケートボードの場所等について調査をしているとお聞きする。場所の確保と整備について検討しているか。

**町長** 宇宙ヶ丘公園に建設の方向で取り組んでいたが、利用者からの聴取の結果、場所や事故発生時の意見があり、現時点での設置は難しいと判断した。

**塩釜** 再度前向きな方向で、場所等について協議をしていただきたい。

**町長** 事故発生時に自治体に求めてくるような状況になりませんが、建設については非常に難しい状況になってまいりますので、十分意見を聞き

ながら今後検討していきたい。

### 旧南種子高校敷地の活用について

**塩釜** 校舎全体大分年数が進み、特に体育館においては老朽化が進み補修等しながら多目的施設として活用している。今のうち何らかの対策が必要ではないかと考える。  
トンミー市場を中心にしたような構想を持って整備していくのか。

**町長** 財源をしっかりと確保して裏付けを出していく必要がある。今後考えられる財源も出てくると思います。周辺も整備するような方向を指示しておりますので、内容を精査しながら検討したい。

**塩釜** 旧南種子高校跡地の全体の青写真をつくるプロジェクトチームを作って、検討する考えはないか。

**町長** どのように周辺を整備した方がいいのか、チームを作った方がいいかと協議をし

て、議会にもご意見をいただくとしたいと思います。

### 空家・廃家対策について

**塩釜** 国は2015年空家対策特別措置法を制定し、空家解体、撤去費用の補助が出るものとしていた。空家対策策定を実施していただき町独自の支援事業等の実施要綱を策定し支援できないか。

**町長** 本町においても、もともと住んでいた住宅を空家としているケースや、経済的な理由により住宅補修ができず、町営住宅に転居することにより空家になるケースが多くなってきた。町独自の支援策として、町内の危険家屋の解体及び撤去工事に要する補助金交付要綱を、令和3年12月に制定し令和4年度当初予算において計上をいたしました。



# 論

# 点

こととなります。

## 条例

南種子町サテライトオフィスの設置及び管理に関する条例制定について

**質疑** 条例のあらゆるところに、「管理上支障があるとき」、「管理上適当ではないと認めるとき」などの文言が出て来ております。特に町長が認めるときというのは、検討されてますか。

**答弁** 各条項において、その目的においての項目を記しております。その都度事案が発生したときに検討しながらという部分もあります。規則、規則以外に生じる部分についても、必要に応じて検討しながら実施していくという

思います。公安委員会と協定は結んでいますか。

**質疑** 管理者がいるのか。企画課の窓口で行うのか。

**答弁** 基本的に管理者は置きません。インターネット等を通じて申し込みをしていただき、その際にスマートフォン等に開閉できるデータを送りして、自動で開閉できるようにシステムを導入している。何かあったら企画課の方で対応するようにしています。

南種子町定住促進空き家活用住宅の設置及び管理に関する条例制定について

**質疑** 家族留学を対象とした住宅ということですが、入居の際に情報収集もすると

**答弁** 公安委員会との協定は結んでいません。宇宙留学の最初の教育委員会での審査もあります。同居人についても調査するようにしたい。

南種子町消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について

**質疑** 出動報酬の旧条例では、水火災の場合、警戒の場合には訓練等となっています。新しいところには警戒の場合が載っていないのですが、災害のところで含まれるという事ですか。

**答弁** 警戒等については、年末の警戒で訓練等の一環という事で捉えている。

# 補正

令和3年度南種子町一般会計補正予算(13号)の審議から

各事業の確定、執行残及び実績見込みによるもので、今後の所要額を補正するもので予算の総額から歳入歳出それぞれ7,986万4千円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ63億427万1千円とするものである。

**質疑** 堆肥センターの発酵促進剤の業務委託、当初594万円計上しておりました。今回117万2千円減としている。理由は。

**答弁** 当初種菌関係は600ト購入としていた。実際には530ト程度となり70ト

少ない購入となった。その分の減額ということになります。

令和3年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(4号)の審議から

今回の補正は歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2,157万5千円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ8億6,429万2千円とするものである。

**質疑** 歳出で保険給付費がマイナス2千万円の申請となつていますが、減額の要因は。

**答弁** 医療費の見込みで減額している。

# 予算委員会報告 (総務文教委員会)

委員長 柳田 博  
副委員長 大崎 照男  
委員 小園 實重  
委員 広浜 喜一郎

第1回定例会に於いて、当委員会に分割付託された、令和4年度一般会計の各課の予算審査の経過と結果について報告します。

審査の日程を3月3日及び4日の2日間とし、欠席届出のあった1名の委員以外の全委員の出席の下、第1委員会室で関係課長及び担当職員の出席を求め審査を行いました。

ち2社が4月からの利用が決定しています。

**議会事務局** 議会は町長と同じく町民に対し直接責任を負う機関である。各種研修会に参加し、知識向上と情報収集を図ることを目的に、監査室も同様に、予算編成に努めた。

質疑 なし。

**企画課** 「第2期トライトウン南種子町宇宙・歴史・文化の町」総合戦略に基づき政策目標を明確にし施策を行う。また1月よりデジタル推進係を新設したので、行政デジタルトランスフォーメーション、地域デジタルトランスフォーメーションの推進を図り、また南種子町サテライトオフィスを活用した取り組みを推進する。

**質疑** サテライトオフィス事業で、申し込みの企業は。

**答弁** 関係企業にPRを行い、12社との面談も終え、う

質疑 なし。

**会計課** 用度品管理の消耗品費、公用車集中管理の燃料費、公金振替等の手数料等が主なもの、また今年度より、町税等のコンビニ収納事務が運用される。担当課と連携を図り正確迅速な出納業務に努める。

**社会教育課** 教育振興基本計画に基づき「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくりプラン」を目標に「生涯学習の推進」、「社会教育の推進」、「社会体育の推進」、「芸術文化の振興と文化財の保存

活動」などに積極的に取り組む。

**質疑** 成人式については「20歳の集い」と名称変更されたのか。

**答弁** アンケートの結果、20歳での実施年齢が良いとの希望者が多く「20歳の集い」となった。

**税務課** 町税は重要な自財源であり、適正な課税客体の把握と適正な課税を基本として、税確保に努める。

**質疑** 地籍事業は87.6%の進捗率と言うことだが、完了の見通しは。

**答弁** 国の方への予算要求をしても6割程度しか配分がないために、あと15年程度はかかる見込みですが、早期完了のために予算確保に努力します。

**質疑** 食費、食のありがたみの面、またセンター新築も有ることからも、給食費の保護者負担については。

**答弁** 給食のありがたみが薄れてきている点等も指摘されていることから、食育の授業指導の面からも触れていきたい。

**管理課** 本町の教育行政方針に基づき「あしたをひらく心豊かでたくましい人づくり」を基本目標として、人間性豊かでたくましく生きる町民の育成を目指し活力のある教育の振興を図ります。

**質疑** 家族留学18家族の住宅の確保は。

**答弁** 住宅の区分は町営住宅11家族。民間の住宅に7家族入居することとなっている。

質疑 なし。

**総務課** 役場全体を統括し指導する職責もあり、常に行財政執行の教育・指導・監視を強化するとともに、自治体間、地域間に格差が生じないよう、企画力の向上など各種研修事業等二層充実強化に努める。

**質疑** マイナンバーカードの交付状況は。

**答弁** 2月20日現在人口5,550名に対し2,754名交付し、率としては42.62%であります。

以上で質疑審査を終わりで討論なく採決の結果全会一致で原案通り可決した。

## 執行当局への申し入れ

1 ふるさと納税については、本町ならではの特産品等返礼品の魅力アップに努め、ふるさと納税の拡充と、南種子町の魅力発信を行い地場産品の活用に引き続き積極的に努めるべきである。

**学校給食センター** 地産地消に配慮し安心で美味しい学校給食と食育の推進も合わせて図っていく。今年度は、新規事業のネットワークシステム環境構築事業の増額が主な予算になっています。

**選挙管理委員会** 今年度7月任期満了に伴う参議院選挙。また令和5年4月に任期満了となる県議会選挙同じく南種子町町長、議会議員選挙の執行が有りそれに係る準備経費を計上。

# 予算委員会報告

(産業厚生委員会)

委員長 名越 多喜子  
委員 福島 照男  
副委員長 濱田 一徳  
委員 塩釜 俊朗

産業厚生委員会に分割付

答弁 国道・県道は国県

託された令和4年度一般会計  
予算及び3つの特別会計予算  
並びに水道事業会計予算の審  
査の経過と結果について報告  
します。3月3日4日の2日  
間実施。

の補助金であり、まちづくり  
公社へは、農道・町道・一部  
国道を依頼している。

審査の方法は、令和4年度  
予算編成方針及び事業等につ  
いて、各課より説明を受け質  
疑応答にて審査しました。

企画課 種子島宇宙芸術  
祭の単独実施。ロケット祭りに  
ついては、十分協議をして実  
施できるよう努める。

建設課

当初予算編成方  
針に基づき、第6次長期振興  
計画を基本に住民が安全安  
心に暮らせる環境整備を図  
る。

質疑 トンミー市場の拡  
大・拡充の考えはないか。

答弁 実施計画には入って  
ない。職員の更衣室関係につ  
いて検討が必要である。

質疑 過年度入園児童負  
担金の収納対策について

答弁 年2回督促状を送  
付して納入相談を実施。

保健福祉課

健康保険係  
・福祉年金係(福祉事務所)・  
環境衛生係・介護保険係と  
包括支援センターで住民に密  
着した行政事務を国の施策を  
基本とし、積極的に実施し、住  
民が安心して暮らせるまちづ  
くりを推進している。環境衛  
生については、清掃センターの  
整備補修工事の予算計上。

質疑 買入れ価格と売渡価  
格との違い。

答弁 買入れてから売  
り渡すまでの期間がかかり、  
年度をまたがる関係である。

水道課

町民の公衆衛生  
の向上と、生活環境の改善に  
必要不可欠な基盤整備であ  
る。各施設の維持管理に努め  
る。

質疑 災害時の停電等の  
対応について。

答弁 発電機は11カ所設  
置。加圧施設等は、リースの発  
電機で対応している。

質疑 住宅関係で農振地  
内住宅を設置という状況が  
近年あるか。

答弁 農業振興地域の除  
外については、住宅や事業用  
倉庫など数件ある。除外につ  
いては個別に、都市計画区域  
内については建設課と調整を  
していく。  
以上審査を終了。原案通り  
可決した。

質疑 現在稼働運用して  
いる。

答弁 現在稼働運用して  
いる。

## あおぞら保育園

基本理  
念・保育方針・保育目標をもっ  
て、保育士の質の向上に努め、  
安心して預けられる保育園運  
営を行う。

## 農業委員会

担い手への  
農地利用の集積・集約化。遊

## 総合農政課

農業の担い  
手となる後継者を育成する法

## 執行当局への申し入れ

1 予算執行に当たっては、  
より適正かつ効果的な執行に  
努めるべきである。

# 所管事務調査・陳情審査報告

(総務文教委員会)

委員長 柳田 博  
副委員長 大崎 照男

委員 小園 實重  
委員 廣濱 正治  
委員 広浜 喜一郎

閉会中の所管事務調査と  
していましたが、町内交通安全  
施設に関する調査の報告をし  
ます。

第1回目(令和3年11月  
29日)午後より開催し所管課の  
町内交通安全施設の状況等  
について、現地調査の事前調  
査をしました。

説明の後質疑で、カーブミ  
ラーは町内に345基設置し  
ているとのことだが、今年度新  
設、修理の箇所はないかの問  
いに、要望により新設4カ所、  
点検3カ所、修理はないとの  
こと。

総務課の交通安全施設対  
策予算は、75万6千円かの間  
いに、総予算は75万6千円  
あり、建設課に業務依頼し道  
路標示等の改善整備業務を  
行っている。

次回の調査日程等を決め  
終了し、令和3年12月22日午

前9時より長谷・平山・荻永・  
下中・西野地区を調査。午後  
より西海・島間・上中地区  
の現地調査を終了し、第1委  
員会室で総括をしました。

委員からの意見で、全体的  
に中央線や側溝等の道路標示  
が、国道・県道・町道間わず  
全般に消えている。夜間や雨  
天、濃霧時等の荒天時に、安  
全運転に悪影響があるのでは  
との意見。又塩害の影響によ

り、本町を縦に区切ると特に  
西側のガードレール、カーブ  
ミラーの腐食、劣化が酷い。又  
道路改良等で舗装面が上が  
り、ガードレールが低くなり  
役目を果たしていない箇所等  
があるなどの意見が出た。

以上で終了し町当局に託し  
次の2点を要望意見として申  
し入れることとした。

- 1 今回点検調査確認を行っ

た箇所を含む、「令和3年度  
子供の移動経路・通学路等  
の要対策箇所の一覧」につい  
て、関係管理者との速やかな  
協議を行い、改善の対応を凶  
るべきである。

- 2 道路の中央線等、道路標  
示の改善等の予算の確保を  
し、国や県等にも強く改善の  
要望を行うこと。

以上で総務文教委員会の  
所管事務調査の報告としま  
す。

## 陳情審査

令和3年第3回定例会に  
おいて、当委員会に付託され  
た陳情第3号、貴議会での「**川  
内原発20年運転延長**」に伴う  
課題の調査・研究と議会での  
議論などを求める陳情書  
(「川内原発20年運転延長」に  
伴う課題の調査・研究と議  
会での議論及び住民への情報  
提供を求める件)の審査の経  
過と結果について報告します。

当委員会は令和3年9月

15日第1会議室に於いて、審  
査の方法、日程等について協  
議を行い、9月21日「川内原  
発20年延長を考える会」の提  
出代表者の元川孝二氏に出  
席をいただき陳情者の趣旨に  
ついて説明をいただきました。

陳情内容を要約した点と  
して私達市民団体「川内原発  
20年延長を考える会」は、原  
発を取り巻く様々な課題と  
20年運転延長に伴う危険性  
について冊子に取りまとめ貴  
議会に届けた所であり、原発  
20年延長に伴う課題につい  
て、早め早めに調査・研究に  
取り組み、住民への積極的な  
情報提供に取り組んでいただ  
きたいということがあります。

その要請を受け今後の取り組  
みとして、九州電力株式会社  
に対し川内原発に関する資料  
等の提供を求めることを決定  
し後日、関係資料を全議員に  
配布し、双方から提供をいた  
だいた資料の精査を行い、委  
員各位又、議員各位が研鑽を  
積み、情報の共有と議論を更  
に深めていくことを確認した。

令和4年3月7日委員会  
を開催し、委員各位の意見と  
して今回陳情の内容が住民の  
生活と環境問題等に直結す  
るエネルギー政策に関する非  
常に重要な課題であることか  
ら、国や都道府県で広域的に  
対応すべき課題であり、陳情  
書で要望を受けた住民への積  
極的な情報提供については、  
川内原発に関しては国と県で  
の対応が妥当との意見であ  
り、協議を終了した。

南種子町議会での対応とし  
ては、調査・研究を行うこと  
については、よりの確で正確な  
情報の提供という観点から見  
ても、緊急時防護措置準備区  
域(原発より5〜30km圏内の  
9市町村)外である南種子町  
議会での対応は非常に難しい  
状況であり、関係区域外の専  
門的な知識・見識を持ち得  
ない当議会を取り組める問題  
ではなく、国や県の段階で広  
域的に取り組む重要な課題で  
あると判断し、不採択と決定  
しました。

## 陳情審査・意見書提出（産業厚生委員会）

委員長 名越 多喜子  
副委員長 濱田 一徳  
委員 福島 照男  
委員 塩釜 俊朗

令和4年第1回定例会に

次に提出者の南種子町公

民館連絡協議会会長鮫島和巳氏、並びに上中地区公民館館長鮫島宗弘氏の出席をいただき、陳情書提出の趣旨等についての意見書提出を求める陳情について」の審査を、令和4年3月4日欠席届出の1名の委員以外全委員出席のもと、審査について協議を行った。3月7日に委員会を開催し、産業廃棄物事業所の現地調査を実施。3月10日に審査会を開催し、陳情書提出者及び町関係課担当者の出席をいただき審査を実施。

まず残置している産業廃棄物の状況と経緯等について、保健福祉課長及び担当職員から、関係事項に関する聞き取り調査を実施した。

## 意見書

ついて採択すべきものと決定した。

南種子町内2箇所の産業廃棄物処理事業所で受け入れた産業廃棄物については、株式会社大迫産業が事業を停止して残置している状況です。残置された産業廃棄物については、適正処分されなければならぬ廃油や廃車などの産業廃棄物であり、強風による廃棄物の飛散や風雨に伴う劣化及び汚水の流失、地下浸透などによる汚水対策等の問題など地域住民にとっては、日常生活の生活環境に影響のある深刻な問題となっております。この件については、産業廃棄物処理業者が所在する地元地区自治公民館でも重要課題として取り上げてい

る。産業廃棄物処理事業所の許可・指導等の権限を持つ鹿児島県（環境林務部廃棄物・リサイクル対策課）にも要望を行った経緯もありますが、引き続き適正処理を指導していく等の回答であり、地元住民が期待する具体的な対策等が示されていない状況です。

2 適正処理の責任は、株式会社大迫産業にあることは当然であるが、住民生活への影響に対する監視・調査・対策については、産業廃棄物処理事業許可の権限を有する鹿児島県が責任を持って対応していただきたい。

そこで南種子町議会に於いても、本町町民の生活環境に関係する重要な課題であることとを確認し、次の点について対応されるよう要望するものがあります。

3 地元自治体（南種子町）とも連携した対応をとり、住民生活の安心、安全を確保いただき関係住民への丁寧な情報提供をいただきたい。

1 株式会社大迫産業が残置している産業廃棄物について、将来にわたって近隣住民の生活環境に及ぼす影響が多大であるとの懸念から、早急な対策を講じていただきたい。

地域住民の安心で安全な生活環境の確保の重要性に鑑みて、以上のような点についての対応を求めるために、地方自治法第99条の規定により、南種子町議会として、鹿児島県知事宛て意見書を提出するものです。

# 自衛隊馬毛島基地（仮称）施設整備計画に係る意見書の提出について

発議者

議会運営委員長 塩釜俊朗

馬毛島に計画されている自衛隊馬毛島基地（仮称）については、南西地域における防衛

体制の強化を図るとともに、

この地域の大規模災害対応の拠点施設として、我が国防

衛や防災上の重要な役割を

果たす大変有意義なものと考

えます。

また、医療体制の脆弱なこの地域にとつて緊急輸送等、

自衛隊に対する期待は非常に

大きく、昨今のコロナ禍においても、その必要性、重要性はますます高まっております。

施設整備に当たり、懸念と

されていた騒音についても、デ

モフライトによる騒音体感を

踏まえ、現時点において影響

は少ないものと判断をいたします。

よつて南種子町議会として

は、FCLP移転計画を含む施設整備計画については、現

在実施中の環境アセスメント

についても、より丁寧な実施に努め、環境保全に最大限の配

慮をしながらこの計画も着実に前に進めることを要望しま

す。

また、地元商工会等各団体

の強い要望もあることから、施設整備については地元企業

の受注機会を確保しながら物

品等の地元調達に配慮し、官舎等の施設配置についても本町との協議、要請に沿った整備をされるようあわせて要望

します。事の重要性に鑑みて、

本町議会の基本的な考え方も

確認し、この意見書提出の取

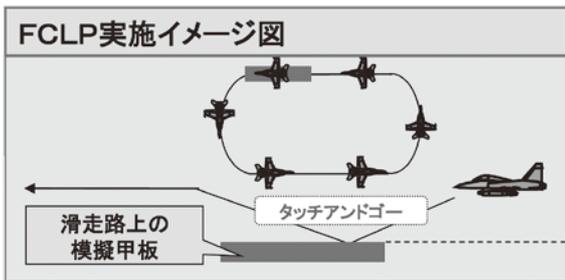
り組みを行うものです。

以上地方自治法第99条の

規定により意見書を防衛大

臣に提出することとし賛成多

数にて可決いたしました。



△令和2年12月1日発行(特別号)より抜粋

# ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議について

提出者 南種子町議会

大崎 照男 外全議員

本年2月24日ロシアはウク

ライナへの軍事侵略を行い、数

多くの民間人が犠牲となって

いるところであり、大変痛ま

しい状況が続いております。

このことは、国際社会の秩

序を失わせ世界の平和と安全

を脅かす明白な国際法、国連

憲章違反であり、断じて容認

できるものではありません。ロ

シアの一方的な侵略に対して、

我が国を始めとする国際社会

は、あらゆる外交努力を行い、

一日も早いウクライナの平和

と安全を再構築しなければな

りません。

南種子町議会は、ロシアに



よるウクライナへの侵略に断固抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア軍のウクライナからの完全かつ無条件での即時撤退を強く求めるものです。

地方自治法第112条及び会議規則第14条第1項の規定により、ロシア日本大使館に南種子町議会として提出するものであります。



上山 幸夫氏

上山 幸夫(70歳)  
南種子町中之下1860  
番地12  
昭和26年7月8日生

人権擁護委員の推薦に  
ついて答申

# 人事

ホームページの閲覧に  
ついて

左の二次元コードをスマー  
トフォンなどで読み取ると南  
種子町議会の議会だより(平  
成27年3月発行分以降)と定  
例会の会議録(平成27年第2  
回定例会分以降)の閲覧がで  
きます。是非ご活用ください。

議会だより



会議録



## 議会を傍聴してみませんか

町民の皆様にも、町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、多くの方に傍聴していただきたいと考えています。

傍聴するときは、傍聴者名簿に住所・氏名・年齢を記入するだけで傍聴できます。

町議会の定例会は、年4回(3月・6月・9月・12月)開催されています。開催日が決まりましたら防災無線でお知らせいたします。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎26-1111 (内線280・281)

## 編集後記



新型コロナウイルスが蔓延し2年以上がたちました、この先どうなるのか。不安の中、ウクライナではロシアの一方的な侵略に数多くの民間人、軍人、子供達が犠牲となり、世界の平和と安全が脅かされています。

ロケット打ち上げ見学場となる宇宙ヶ丘公園の歩道、駐車場整備、1,300万円。  
令和3年度一般会計補正予算(7,986万円減額、総額63億427万円)など15議案を承認、可決した。

南種子町第1回定例会は、桜の花爛漫の中、議会充実に、3月2日に開会し、18日までの17日間、無事に終えることができました。

寒い時期も過ぎこれから、梅雨の季節、コロナに気を付けて頑張ってください。

令和4年度一般会計当初

予算(総額58億4千万円、前

年度比0.9%増)など5議案を

委員会付託し、主な新規事業

は、島間地区の消防詰め所の

高台移転4,205万円。

議会広報編集委員会

(文責)大崎 照男

